

無線通信研究委員会

SG6 会合 (ジュネーブ)

報告書

2020年2月14日

目次

1. まえがき	3
2. 議事概要	3
3. SG6 会合報告	6
3.1 開会あいさつ	6
3.2 アジェンダの承認	6
3.3 会議進行に関する連絡	6
3.4 前会合の概要	6
3.5 RA-19 及び CPM23-1 の結果概要	6
3.6 Status of texts	7
3.7 SG6 の研究体制	7
3.8 各 WP の会合報告、出力文書審議	8
3.8.1 WP 6A 報告概要	8
3.8.2 WP 6B 報告概要	11
3.8.3 WP 6C 報告概要	13
3.9 SG6 へのその他の文書	15
3.9.1 CCV/SCV 関連	15
3.9.1.1 ラポータの任命	15
3.9.2 他の SG、国際機関とのリエゾン文書	15
3.9.2.2 ITU-R の他の SG	15
3.9.2.3 ITU-T の他の SG、TSAG、FG、JCA	16
3.9.2.4 IEC	18
3.10 2020 年の会合予定	18
3.11 閉会	19
表 1 日本代表団 SG6 会合参加者	21
表 2 入力文書一覧(38 件)	21

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）の第6研究委員会（SG6：放送業務）が、下記の通り開催された（敬称略）。

開催日 : 2020年2月14日（金）（1日間）
開催地 : ITU本部（スイス・ジュネーブ）
議長 : 西田 幸博（日本）
副議長 : T. Aguiar SOARES（ブラジル）、A.S. AL ARAIMI（オマーン）、A.M. AMBANI（ケニア）、I. ANGRİ（モロッコ）、Ch. DOSCH（ドイツ）、A.LASHKEVICH（ロシア）、P. LAZZARINI（バチカン市国）、W. SAMI（EBU）、J. XIE（中国）

参加者 : 25か国、15の認められた企業や地域機関から合わせて83名（名簿登録者）が参加した。

主な国・機関からの参加者数は、トルコ11名、ブラジル6名、中国5名、ドイツ3名、ケニア3名、ロシア3名、米国3名、英国2名、BBC4名、EBU4名である。日本からは表1に示す8名が参加した。

2. 議事概要

今回は、今研究会期の最初となる第1回会合であり、3つのWP会合に続いてSG6会合が開催された。

主な審議結果を以下に列挙する。

本SG6会合における主な審議結果

種別	件数	審議結果
TG 6/1 設置、議長指名	1	承認
勧告改訂案	1	仮採択 ¹ （PSAA ² を適用）
勧告エディトリアル改訂案	7	承認 ³
勧告廃止案	9	仮採択（全てにPSAAを適用）
研究課題廃止案	5	合意（承認手続きへ）
新レポート案	1	承認
レポート改訂案	2	承認

[1] 勧告改訂案：1件

- [6/23] (WP6A) Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1306-7 - Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting

勧告 ITU-R BT.1306-7 改訂案「地上デジタルテレビジョン放送の誤り訂正、データフレーミング、変調及び電波発射方法」

¹ 厳格に表現すれば「採択・承認手続きに進めることに合意した」ということになるが、これを「仮採択」と表記することにする。

² 会合後に、新勧告案及び勧告改訂案に対して SG での採択と構成国による承認を同時に実施する手続きが PSAA(the procedure for simultaneous adoption and approval)である。詳細は決議 ITU-R 1-7 の§ A.2.6.2 を参照。SG 会合で構成国からの反対意見が無い限り PSAA による。但し、無線通信規則が参照している勧告は 2 段階手続きとなる。

³ 勧告のエディトリアル改訂、新レポート案・レポートの改訂・廃止、新オピニオン案・オピニオンの改訂は SG 会合で承認される。

[2] 勧告エディトリアル改訂案：7件

- [6/28] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2076-2 - Audio Definition Model
勧告 ITU-R BS.2076-2 エディトリアル改訂案「音響定義モデル」
- [6/29] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2125-0 - A serial representation of the Audio Definition Model
勧告 ITU-R BS.2125-0 エディトリアル改訂案「音響定義モデルのシリアル形式」
- [6/32] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2094-1 - Common Definitions for the Audio Definition Model
勧告 ITU-R BS.2094-1 エディトリアル改訂案「音響定義モデルの共通定義」
- [6/34] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2088-1 - Long-form file format for the international exchange of audio programme materials with metadata
勧告 ITU-R BS.2088-1 エディトリアル改訂案「メタデータ付き音声番組の国際番組交換のための長形式音声ファイル形式」
- [6/17 rev1] (WP6C) Draft editorial revisions to Recommendations following the publication of Revised Recommendation ITU-R BT.500-14
勧告 ITU-R BT.814-4 エディトリアル改訂案「ディスプレイのブライトネスとコントラスト設定のための仕様と調整方法」
- [6/18] (WP6C) Draft editorial correction to Recommendation ITU-R BT.500-14 following the suppression of Recommendations on video quality evaluation
勧告 ITU-R BT.500-14 エディトリアル改訂案「テレビ映像の主観品質評価法」
- [6/20] (WP6C) Proposed draft editorial amendments of Recommendation ITU-R BT.2124-0 - Objective metric for the assessment of the potential visibility of colour differences in television
勧告 ITU-R BT.2124-0 エディトリアル改訂案「テレビにおける見える可能性のある色差を評価するための客観測定基準」

[3] 勧告廃止案：9件

- [6/16] (WP6C) Proposed suppression of Recommendations ITU-R BT.710, ITU-R BT.812, ITU-R BT.1129, ITU-R BT.1382, ITU-R BT.1663, ITU-R BT.1788, ITU-R BT.2021, ITU-R BT.2022 and ITU-R BT.2095
勧告 ITU-R BT.710 廃止案「高精細テレビのための主観画質評価法」
勧告 ITU-R BT.812 廃止案「文字多重放送における英数字や図形の画質の主観評価」
勧告 ITU-R BT.1129 廃止案「SDTVの主観評価法」
勧告 ITU-R BT.1382 廃止案「多重プログラムサービスの画質評価」
勧告 ITU-R BT.1663 廃止案「劇場での大画面のデジタル映像のためのシステム品質評価のための専門家による観視法」
勧告 ITU-R BT.1788 廃止案「マルチメディア視聴環境における映像品質の主観評価法」

勧告 ITU-R BT.2021 廃止案「ステレオスコピック 3DTV システムの主観評価法」

勧告 ITU-R BT.2022 廃止案「SDTV と HDTV の画質を平面ディスプレイで主観評価するための一般的な観視条件」

勧告 ITU-R BT.2095 廃止案「専門家による映像品質の主観評価法」

[4] 研究課題廃止案：5 件

- [6/25] (WP6A) Suppression of ITU-R Questions

研究課題 65/6 廃止案「音声放送のスペクトル要求条件」

研究課題 105/6 廃止案「テレビ放送のスペクトル要求条件」

研究課題 114/6 廃止案「周波数プランニングに必要なテレビ受信機と受信アンテナの特性」

研究課題 124/6 廃止案「デジタルテレビ/ラジオ放送計画手順の検査検証のための計画法」

- [6/33] (WP6B) Proposed suppression of Question ITU-R 138/6 -Methods for signalling loudness compliance

研究課題 138/6 廃止案「ラウドネス準拠のシグナリング法」

[5] 新レポート案：1 件

- [6/27] (WP6A) Draft new Report ITU-R BS.[IBOC-MW-PLAN] - Planning analysis for the HD Radio system in the MF band

新レポート案 ITU-R BS.[IBOC-MW-PLAN]「中波帯における HD Radio システムのプランニング分析」

[6] レポート改訂案：2 件

- [6/24] (WP6A) Draft revision to Report ITU-R BT.2295-2 - Digital terrestrial broadcasting systems

レポート ITU-R BT.2295-2 改訂案「地上デジタル放送システム」

- [6/21] (WP6C) Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2390-7 - High-dynamic range television for production and international programme exchange

レポート ITU-R BT.2390-7 改訂案「制作と国際的な番組交換のための高ダイナミックレンジテレビ」

3. SG6 会合報告

3.1 開会あいさつ

はじめに、SG6 議長の西田氏より、ITU-R SG6 会合開会に伴う挨拶及び RA-19 での謝辞が述べられた。続けて、12 名の副議長が紹介され、出席の 9 名が順に自己紹介を行った。BR 局長は本日不在であったため、カウンセラーの Chang 氏から代理で挨拶があった。概要は以下のとおり。

Chang 氏（カウンセラー）

BR 局長は本日参加することができないので、手紙を預かっています。このなかで、SG6 の功績、特に世界的に調和のとれた放送技術に対し、深い感謝と理解を述べています。また、RA-19 と WRC-19 への貢献に対しても、感謝の気持ちが綴られています。RA-19 では、放送業界の将来にわたる発展と、テレビ・音声・マルチメディア・放送分野における ITU-R（特に SG6）の活動に関する 2 つの新決議（ITU-R 決議 70、ITU-R 決議 71）が承認されました。WRC-19 では、WRC-23 議題 1.5 が採択されています。特に第一地域での放送帯域については、WRC-23 のホットピックとなる可能性が高く、十分に備えなければなりません。CPM23-1 は、WP6A を当該議題の寄与グループに指名するとともに、SG6 の下に TG6/1 の設置を求めています。この CPM23-1 の決定に従って、本日 TG 議長が任命されます。副議長は SG5 において任命される予定です。WRC-23 において放送サービスの展開と将来の進展に支障が生じないように、十分に注意を払うべきです。最後に、会合の成功を祈って、局長の挨拶に代えさせていただきます。

3.2 アジェンダの承認

SG6 議長よりアジェンダが紹介され、異議なく承認された。

3.3 会議進行に関する連絡

カウンセラーより、「INFORMATION FOR PARTICIPANTS」に基づき事務連絡が行われた。

3.4 前会合の概要

- [6/408] (Chairman, SG 6) Summary record of the eighth meeting of Radiocommunication Study Group 6 (Geneva, 26 July 2019)

「SG6 第 8 回会合議事概要録（2019 年 7 月）」

SG6 議長より、前 SG6 会合の Summary Record が紹介された。

異議なく Noted となった。

3.5 RA-19 及び CPM23-1 の結果概要

- [6/13] (Chairman, SG 6) Summary of results of the RA-19 and CPM23-1

「RA-19 及び CPM23-1 結果概要」

SG6 議長より、RA-19 及び CPM23-1 の結果が紹介された。RA-19 については、新決議 70 及び 71 に言及された。CPM23-1 については、WRC-23 議題 1.5 及び WP6A が責任グループとされている議題に言及された。

異議なく Noted となった。

3.6 Status of texts

- [6/1(Rev.1)] (Chairman, SG 6) Assignment of texts to the Study Group 6 Sub-Groups - Version January 2020

「SG6 が所掌する文書の状況」

SG6 が所掌する文書の状況が[6/1(Rev.1)]に基づき紹介された。

異議なく **Noted** となった。

3.7 SG6 の研究体制

- [6/14(Rev.1)] (Chairman, Study Group 6) Proposed organization of the work of the study group 6

「SG6 研究体制案」

SG6 議長より[6/14(Rev.1)]に基づき WP の構成及びその議長・副議長が提案され、承認された。さらに、TG6/1 の設置および議長に Pastukuh 氏(ロシア)を指名することが承認された。また、規則・手続きの分野の専門家として、Ratkaj 氏 (EBU) が TG6/1 をサポートする旨や、TG6/1 の議長・副議長が executive report を SG6 に提出するよう求められている旨が SG6 議長から説明された。

TG6/1 の副議長については、CPM23-1 では SG5 から選出されることに合意しているが、TG6/1 で追加の副議長が提案される可能性について議論となった。

イランは、CPM23-1 での長時間の議論の結果である微妙なバランスを崩しかねないため、追加の副議長は不要であると述べた。カナダ (CPM 議長)、アルメニアがイランを支持し、CPM23-1 での合意は「一人の議長と一人の副議長が存在すること」であり、追加の副議長を選出する可能性があるという記載は削除すべきと述べた。南アフリカも、追加の副議長は選出すべきではないと発言した。

SG6 議長より、本件の意図は SG6 から副議長を選出することではなく、TG6/1 が必要に応じて選出できることであると説明があった。TG6/1 議長及び WP6A 議長は、追加の副議長に関する議論は SG5 や TG6/1 に委ねることを提案した。また、WP6A 議長の「CPM の決定に、副議長を一人に限定するという記載はない」という発言に対し、カナダが「追加の副議長を認めると議長も追加できることになってしまいかねない」と懸念を表明し、本件は CPM での非常にデリケートなバランスの上で決まった妥協点であるため、改めて追加の副議長に関する記述の削除を求めた。イランは、TG6/1 は SG6 の一部であるため、もし SG6 又は SG5 から二人の副議長を選出することになった場合、必ず SG6 に戻すことが重要であると指摘した上で、SG5 から二人の副議長を提案されたとしても受け入れるべきではないと発言した。最終的に、SG6 議長から追加の副議長に関する記述を削除することが提案され、**承認**された[6/14(Rev.2)]。

また、イランは、WRC 議題 1.5 は第一地域に言及されているものの、GE06 協定に含まれる又は隣接する第三地域へも何らかの形で影響を与えうるため、GE06 協定を慎重に考慮する必要があるとコメントした。

- [6/15] (Chairman, Study Group 6) Considerations with respect to the Organisation of ITU-R TG6/1 for the preparation of the studies relevant to WRC-23 agenda item 1.5

「WRC-23 議題 1.5 のための TG6/1 組織構成に関して」

SG6 議長より、TG6/1 の所掌及び予想される作業を考慮して、TG6/1 に WG1 (470-960MHz 帯における既存業務の周波数使用状況と需要)、WG2 (470-694MHz 帯における周波数共用検討)、WG3 (規制及び手続き上の検討事項)、WG4 (CPM テキストの作成) の 4 つの Working Group を設置する案が示された。EBU から、手続き的に SG6 全体の提案に出来ないため、SG6 議長から TG6/1 への提案とするよう発言があり、イランと英国が EBU を支持した。イランは、TG6/1 に異論の余地を残すべきであると発言し、英国、ロシアが支持した。SG6 議長は、本件は SG6 で決定することを意図したものではなく、TG6/1 が他の参加者や TG 議長からの提案を受けることは問題ない旨説明し、SG6 議長から TG6/1 に入力することとした。

- [6/19] (British Broadcasting Corporation (BBC), Broadcast Networks Europe, European Broadcasting Union, Rai Way S.p.A., Norddeutscher Rundfunk (NDR), TDF Group, Zweites Deutsches Fernsehen) Indicative meeting schedule for TG 6/1

「TG6/1 会合スケジュール案」

7 つのセクターメンバーから、会合間に十分な研究時間を確保するため、CPM テキストの提出期限までに会合を均等に開催することや、SG6 会合に隣接して開催すること、適切な会場を確保するため早期に TG6/1 の会合スケジュールを検討する必要があることなどが提案された。イランから、TG6/1 は ITU 本部以外で開催される可能性もあることを留意するようコメントがあった。本文書は SG6 での承認を求めているものではなく、**Noted** とし、内容を SG6 議長から TG6/1 に転送することとなった。

3.8 各 WP の会合報告、出力文書審議

3.8.1 WP 6A 報告概要

3.8.1.1 WP6A 議長の報告

- [6/36] (Chairman, WP 6A) Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 4th to 12th February 2020)

「WP6A の報告」

WP6A 議長 Nafez 氏 (イラン) から、活動のサマリーが報告された。55 件の寄書を審議し、34 件の TEMP 文書を作成した。8 件がリエゾン文書、5 件を SG6 で審議し、残りは議長レポート添付となった。今回、新たにラポータグループ及び CG を 6 つ設置した。前会期のラポータグループ及び CG の活動は、前回の会合で終了していない限り継続しており、WP6A 副議長に Soares 氏 (ブラジル) が新任された以外は、前会期と体制に変更はないことが報告された。Bunch 氏は、Free TV Australia ではなく、オーストラリアの代表であるとエディトリアルな修正がされた。

Noted となった。

3.8.1.2 勧告改訂案

- [6/23] (WP 6A) Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1306-7 -Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting
勧告 ITU-R BT.1306-7 改訂草案「地上デジタルテレビジョン放送の誤り訂正、データフレーミング、変調及び電波発射方法」

勧告 BT.1306-7「地上デジタルテレビジョン放送の誤り訂正、データフレーミング、変調及び電波発射方法」に記載されている DTMB-A の情報を削除する改訂案であり、DTMB-A を第 2 世代の勧告 BT.1877-1 へ追加する勧告改訂案が作成されたことに伴うものである。

仮採択(PSAA に進めることが合意)された。

3.8.1.3 研究課題廃止案

- [6/25] (WP 6A) Suppression of Questions (§ A2.5.3)
「研究課題廃止案(§ A2.5.3)」

既存の類似研究課題に内容が包含された 4 つの古い研究課題を廃止する提案である。ケニアから、ITU-R 105/6 のタイトルに誤りがあるとの指摘があり、”Characteristics of television receivers and receiving antennas essential for frequency planning”を、”Spectrum requirements for television broadcasting”に修正した。

廃止提案が合意され、承認手続きに進めることになった。

3.8.1.4 レポート改訂案

- [6/24] (WP 6A) Draft revision to Report ITU-R BT.2295-2 -Digital terrestrial broadcasting systems
レポート ITU-R BT.2295-2 改訂案「地上デジタル放送システム」

勧告 BT.1877「地上デジタルテレビ放送システムの第 2 世代のエラー訂正、データフレーミング、変調、および放射方法」に ATSC3.0 の内容を追加したことに関連して、BT.2295 にも ATSC 3.0 のシステム概要、技術特性を追加するレポート改訂提案である。IBOC システムの技術特性や RAVIS、DTMB-A に関する情報が更新されている。

承認された。

3.8.1.5 新レポート案

- [6/27] (WP 6A) Draft new Report ITU-R BS.[IBOC-MW-PLAN] -Planning analysis for the HD Radio system in the MF band
新レポート ITU-R BS.[IBOC-MW-PLAN]案「中波帯における HD システムのプランニング分析」

中波帯における IBOC システムの運用パフォーマンスの評価・分析結果を記載した新レポート案である。

承認された。

3.8.1.6 その他の文書

- [6/26] (WP 6A) Draft note from the Chairman of Study Group 6 to the Chairman of CPM-23
「SG6 議長から CPM-23 議長への連絡文書案」

議題 1.4、1.5、9.1c)間の周波数の重複（694-960MHz）をどのように扱って研究を進めるべきか、WP6A から CPM マネジメントチームに確認する連絡文書案である。CPM 議長の Cook 氏（カナダ）は、どのようにして研究を進めるかは、責任グループの議長間で検討することが期待されていると述べ、研究に必要な情報がある場合は、グループ間でリエゾンして、必要な情報が何かということ双方が認識して、所定の期限までに研究を進めれば良いとアドバイスがあった。問い合わせがあった場合、CPM マネジメントチームとして回答することはできるが、すべての議題責任グループ【議題 1.4 : WP5D、議題 1.5 : TG6/1、議題 9.1c) : WP5A/WP5C】が初回の会合を開催するまで CPM マネジメントチーム会合が開催されないため、本文書の CPM 議長への送付に加えて、並行して関連する責任 WP にも問い合わせをすることとして、承認された

WP6A からの報告の最後に、WP6A 議長 Nafez 氏（イラン）から、WRC-23 議題 1.5 に関連して、BR を通じて第一地域の国の地上デジタル放送に関する各種情報を集めるためのアンケートが WP6A で承認されていることが紹介された。以前行われたアンケートで曖昧な表現だった部分を明確化しており、UHF 帯の利用状況や需要を検討する上で大いに役立つものであることが強調された。回章は、手続きが整い次第、2 週間を目処に主管庁に送付されることがカウンセラーから示された。（2 月 27 日付で発行された。）

3.8.2 WP 6B 報告概要

3.8.2.1 WP6B 議長の報告

- [6/37] (Chairman, WP 6B) Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, from 10th to 13th February 2020)

「WP6B の報告」

WP6B 議長 Gardiner 氏（英国）から、活動のサマリーが報告された。前回議長レポート添付を含め 46 の入力文書を検討し、1 件の研究課題廃止案、4 件の勧告エディトリアル改訂案、3 件のリエゾン文書案を SG6 に送付したことが報告された。

Noted となった。

3.8.2.2 研究課題廃止案

- [6/33] (WP6B) Proposed suppression of Question ITU-R 138/6 -Methods for signalling loudness compliance

「研究課題 138/6 廃止案」

前会合で改訂された研究課題 34-3/6 と 130-3/6 が研究課題 138/6 の研究課題を包含するため、研究課題 138/6 の廃止を提案するものである。

廃止提案が合意され、承認手続きに進めることになった。

3.8.2.3 勧告エディトリアル改訂案

- [6/28] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2076-2 -Audio Definition Model

勧告 ITU-R BS.2076-2 エディトリアル改訂案「音響定義モデル」

表記を修正するとともに、タイトルがなかった表に表番号を挿入し、記載が漏れていた audioTrackUserID(ATU)を表に追記するエディトリアル改訂案である。

承認された。

- [6/29] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2125-0 -A serial representation of the Audio Definition Model

勧告 ITU-R BS.2125-0 エディトリアル改訂案「音響定義モデルのシリアル形式」

transportTrackFormat が取り得る値を 1 から複数に訂正するエディトリアル改訂案である。

承認された。

- [6/32] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2094-1 -Common Definitions for the Audio Definition Model

勧告 ITU-R BS.2094-1 エディトリアル改訂案「音響定義モデルの共通定義」

チャンネル ID の誤記を他の表と一致するように修正し、余計な文字を削除するエディトリアル改訂案である。

承認された。

- [6/34] (WP6B) Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2088-1 -Long-form file format for the international exchange of audio programme materials with metadata
勧告 ITU-R BS.2088-1 エディトリアル改訂案「メタデータ付き音声番組の国際番組交換のための長形式音声ファイル形式」

16 進法の表記法を FFFFFFFFhex から 0xFFFFFFFF に変更し、文書内で統一するとともに不要な空白を削除するエディトリアル改訂案である。

承認された。

3.8.2.4 その他の文書

- [6/30] (WP6B) Proposed draft liaison statement from Study Group 6 to ITU-T TSAG and ITU-D TDAG -Liaison Statement on ITU Inter-Sector Coordination
「ITU のセクター間コーディネーションに関するリエゾン文書に対する返書案」

TSAG から 3 つの WP に送付されたセクター間コーディネーションのために情報提供を求めるリエゾン文書に対する返書案である。ITU-R 決議 71 及び各 WP の所掌を紹介して継続的なセクター間の連携を求めるもので、WP6B が代表して WP6A、WP6C からの返書案をマージしたものである。イランから、TSAG/TDAG は何を意味するのかと質問があり、TSAG は Telecommunication Standardization Advisory Group、TDAG は Telecommunication Development Advisory Group の略であり、ITU-R では RAG に相当するものと議長から回答があった。

SG6 から送付することが承認された。

- [6/31] (WP6B) Proposed draft liaison statement from Study Group 6 to ITU-T FG-AI4EE -ITU-T Focus Group on Environmental Efficiency for Artificial Intelligence and Other Emerging Technologies (FG-AI4EE)
「FG-AI4EE に関するリエゾン文書に対する返書案」

ITU-R FG-AI4EE から環境効率の向上に AI を用いる取り組みについて情報提供を求めるリエゾン文書に対する返書案である。WP6B が代表して WP6A、WP6C からの返書案をマージしたものである。

SG6 から送付することが承認された。

- [6/35] (WP6B) Proposed draft liaison statement from Study Group 6 to ITU-T Study Group 13 -Review of Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information
「AI 標準化ロードマップの検討及び不足または更新情報の提供を依頼するリエゾン文書に対する返書案」

ITU-T SG13 からの、各種標準化団体が行っている AI 関連の標準化ロードマップ取りまとめに情報提供を求めるリエゾン文書に対する返書案である。WP6B が代表して WP6A、WP6C からの返書案をマージしたものである。

SG6 から送付することが承認された。

WP6B からの報告の最後に、WP6B 議長から各 SWG 議長、参加者に対する感謝の言葉が述べられた。

3.8.3 WP 6C 報告概要

3.8.3.1 WP6C 議長の報告

- [6/22] (Chairman, WP 6C) Executive report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, from 3 to 7 February 2020)

「WP6C の報告」

WP6C 議長 Quested 氏 (BBC) より、前回議長レポート含め入力文書 32 件を 5 つの SWG (音響、映像、HDR、AI&AIIV、その他) 及び Plenary という構成の下、15 回の公式会合を開催し、5 件を SG6 に提出、16 件を議長レポート添付として継続検討、6 件のリエゾン文書の承認が得られたと報告された。

音響の SWG は、次の会合に向け 2 つの作業計画を作成し、先進的音響システムの利用実態を調査する 2 名の共同ラポータを指名した。HDR の SWG は、3 つの勧告・レポートの改訂草案を作成し、次会合までのレビュー期間を経て SG6 会合に提案することを計画している。

前回からの会合期間中における HDR のラポータグループ RG-24 と ADM レンダラーのラポータグループ RG-13 の懸命な努力を牽引した Gardiner 氏 (英国) と Wood 氏 (EBU) への謝意が示された。

Noted となった。

3.8.3.2 勧告エディトリアル改訂案

- [6/17(Rev.1)] (WP6C) Draft editorial revisions to Recommendations following the publication of Revised Recommendation ITU-R BT.500-14

「改訂された勧告 ITU-R BT.500-14 の発行に伴う勧告のエディトリアルな改訂案」

勧告 BT.500-14 への改訂の際に、画質評価に関する 9 つの勧告が統合されたことに伴い、統合された勧告を参照している 7 つの勧告の参照先を BT.500-14 に変更するエディトリアル改訂案である。

改訂される勧告は以下の通り。

- ・ 勧告 BT.814-4「PLUGE テスト信号の仕様とディスプレイのブライトネスとコントラストの設定手順」
- ・ 勧告 BT.1122-3「SDTV、HDTV、UHDTV および HDR-TV のための送信と二次分配システムにおけるコーデックのユーザー要件」
- ・ 勧告 BT.1210-4「画質評価のためのテスト素材」
- ・ 勧告 BT.1868-0「素材伝送、一次分配、および SNG 伝送路のコーデックのユーザー要件」
- ・ 勧告 BT.1970-0「FR 法を用いた HDTV 放送アプリケーション用客観画質評価法」
- ・ 勧告 BT.1908-0「RR 法を用いた HDTV 放送アプリケーション用客観画質評価法」
- ・ 勧告 BT.2000-0「映像情報システムアプリケーションにおける大画面デジタル画像の勧告の活用」

すべて承認された。

- [6/18] (WP6C) Draft editorial correction to Recommendation ITU-R BT.500-14 following the suppression of Recommendations on video quality evaluation

映像品質評価に関する勧告廃止に伴う勧告 ITU-R BT.500-14 のエディトリアル訂正案「テレビ映像の主観品質評価法」

勧告 BT.500-14 への改訂の際に、BT.500 に包含され廃止予定の勧告 BT.2095 への参照が残っていたため、参照先を BT.500 内の該当箇所に変更する誤記訂正のエディトリアル改訂案である。

承認された。

- [6/20] (WP6C) Proposed draft editorial amendments of Recommendation ITU-R BT.2124-0 - Objective metric for the assessment of the potential visibility of colour differences in television

勧告 ITU-R BT.2124-0 エディトリアル改訂案「テレビにおける見える可能性のある色差を評価するための客観測定基準」

XYZ からディスプレイ参照のリニア RGB 変換の際に用いるマトリクス係数の精度の修正及び、誤植を修正するエディトリアル改訂案である。

承認された。

3.8.3.3 勧告廃止案

- [6/16] (WP6C) Proposed suppression of Recommendations ITU-R BT.710, ITU-R BT.812, ITU-R BT.1129, ITU-R BT.1382, ITU-R BT.1663, ITU-R BT.1788, ITU-R BT.2021, ITU-R BT.2022 and ITU-R BT.2095

勧告 BT.710 廃止案「高精細テレビのための主観画質評価法」

勧告 BT.812 廃止案「文字多重放送における英数字や図形の画質の主観評価」

勧告 BT.1129 廃止案「標準精細度テレビのための主観画質評価法」

勧告 BT.1382 廃止案「マルチプログラムの主観画質評価法」

勧告 BT.1663 廃止案「専門家の視聴による大画面デジタルイメージシアターシステムの品質評価法」

勧告 BT.1788 廃止案「マルチメディアアプリケーションにおける主観画質評価法」

勧告 BT.2021 廃止案「二眼立体の 3DTV システムの主観画質評価法」

勧告 BT.2022 廃止案「SDTV および HDTV の主観画質評価のための平面ディスプレイにおける一般的観視条件」

勧告 BT.2095「専門家による視聴プロトコル(EVP)を用いる主観画質評価法」

勧告 BT.500-14 への改訂の際に BT.500-14 に統合された 9 つの勧告を廃止する提案である。

全て仮採択(PSAA に進めることが合意)された。

3.8.3.4 レポート改訂案

- [6/21] (WP6C) Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2390-7 -High-dynamic range television for production and international programme exchange

レポート ITU-R BT.2390-7 改訂案「制作と国際的な番組交換のための高ダイナミックレンジ」

カメラプロセスを表す図のキャプションにおける誤記を修正するレポート改訂案であり、「EOTF」を「OETF」に修正したほか、エディトリアルな修正を行っている。

承認された。

WP6C からの報告の最後に、WP6C 議長から以下の趣旨の挨拶が述べられた。今年で発行から 30 年を迎える勧告 BT.709 のグローバル市場における価値は 7500 億 U.S ドルを超えると調査結果がある。コンシューマーテレビをベースとした算出結果であるが、放送制作機器を考慮すると 1 兆から 1.5 兆 U.S ドル程度の経済効果をたった一つの勧告がもたらしたことになる。ITU-R での活動の価値を今一度考えて欲しい。最後に、WP6C 副議長、SG6 議長への謝辞が述べられた。

3.9 SG6 へのその他の文書

3.9.1 CCV/SCV 関連

- [6/411] (Standardization Committee for Vocabulary (SCV)) Liaison statement on the definition of broadband access

「ブロードバンドアクセスの定義に関するリエゾン文書」

「broadband access」の定義について、2019 年 6 月の CCT (ITU-T SCV, ITU-R CCV, ITU-D の代表)会議で再度議論した結果、現時点では、全ての関係者の作業に適する一般的な定義を提供することはできないと結論したが、特定の文脈の勧告において定義する可能性を認めないわけではないとの検討結果を伝えるリエゾン文書である。

WP6A、6B、6C で検討されたものであるため、SG6 としては Noted となった。

3.9.1.1 ラポータの任命

これまで語彙に関する SG6 ラポータを務めてきた Giudici 氏（バチカン）に代わり Salvatori 氏（バチカン）を後任とする提案が Lazzarini 氏（バチカン）よりなされた。会場の拍手により同意された。

3.9.2 他の SG、国際機関とのリエゾン文書

3.9.2.1 セクター間コーディネーション

- [6/3] (ITU-T SG 16) Liaison statement on matching of ITU-R WPs of interest to ITU-T Study Groups

「ITU-R WP の関心事項と ITU-T SG との対応関係に関するリエゾン文書」

SG6 から送付した ITU-T SG 研究課題と ITU-R WP との対照表への謝意を示すとともに、Question “Artificial intelligence-enabled multimedia applications” は Q3/16 ではなく Q5/16 であるとの誤記訂正を指摘するリエゾン文書である。

関連する WP で検討されたものであるため、SG6 としては Noted となった。

- [6/8] (ITU-T TSAG) Liaison statement on ITU Inter-Sector coordination

「ITU のセクター間コーディネーションに関するリエゾン文書」

ITU セクター間コーディネーションに関するこれまでのフィードバックを反映した 2 つの文書 (ITU-D と ITU-T、ITU-R と ITU-T) を送付し、さらなる意見を照会するリエゾン文書である。

関連する WP で検討され同意されたものであるため、SG6 としては Noted となった。

3.9.2.2 ITU-R の他の SG

- [6/409] (SG 5) Recommendation ITU-R F.758-7 -System parameters and considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference

「勧告 ITU-R F.758-7 固定業務のデジタル固定無線システムと他業務のシステムおよびその他の干渉源の共用もしくは両立性のためのシステムパラメータおよび基準の検討」

勧告 ITU-R F.758-7 が改訂されたことを伝えるものである。

Noted となった。

3.9.2.3 ITU-T の他の SG、TSAG、FG、JCA

- [6/409] (ITU-T FG-VM) Liaison statement on the call for proposals for an internationally agreed vehicular multimedia architecture

「国際的に合意された車載用マルチメディアアーキテクチャの提案募集に関するリエゾン文書」

車載用マルチメディアの ITU フォーカスグループ FG-VM の最近の活動を知らせるリエゾン文書である。この文書は SG6 宛てのものであるが、類似した内容の文書を別途受領しており、そちらについては関連する WP で検討されているため、SG6 としては Noted となった。

- [6/410] (ITU-T FG ML5G) Liaison statement on results of ITU's work on machine learning for 5G networks

「5G ネットワークのための機械学習に関する ITU の作業結果に関するリエゾン文書」

ITU-T では AI や機械学習に関する様々な活動が行われており、5G を含む将来のネットワークのための機械学習に関する Focus Group (FG ML5G)の活動を情報として知らせるリエゾン文書である。

Noted となった。

- [6/4] (ITU-T SG 16) Liaison statement on recent activities of Recommendations related to TVOS

「TVOS に関する勧告化活動のリエゾン文書」

ITU-T Q13/16 から ITU-T Q5/9 に対して、TVOS 関連の情報共有に対する感謝と ITU-T 勧告 J.stvos-spec-arch の AAP 同意達成を祝うとともに、新勧告案 ITU-T H.753 「IPTV サービスのシーン ベースのメタデータ」を紹介するリエゾン文書である。

WP6B で検討されたものであるため、SG6 としては **Noted** となった。

- [6/5] (ITU-T SG16) Liaison statement on new ITU-T Recommendation H.430.4 on MMT profile on Immersive Live Experience (ILE)

「超高臨場感ライブ体験(ILE) 用 MMT プロファイルの新勧告 ITU-T H.430.4 に関するリエゾン文書」

ITU-T SG16 からの、超高臨場感ライブ体験 (ILE) システムのための MMT (MPEG Media Transport, ISO/IEC 23008-1) を用いた信号情報、メディア伝送方式、サービス構成に関する勧告 H.430.4 が承認手続きに入ったことを知らせるリエゾン文書である。

WP6B、WP6C で検討されたものであるため、SG6 としては **Noted** となった。

- [6/6] (Chairman, ITU-T JCA-IMT 2020) Liaison statement on invitation to update the information in the IMT2020 Roadmap

「IMT-2020 ロードマップの情報更新に関するリエゾン文書」

IMT2020 に向けた ITU-T Joint Coordination Activity (JCA-IMT2020)から、IMT2020 に関連する標準化団体 (ITU-R、ITU-T、ITU-D のすべての研究委員会、3GPP、ETSI、IEEE など) へのリエゾン文書である。

WP6A、WP6B で検討されたものであるため、SG6 としては **Noted** となった。

- [6/7] (ITU-T SG 13) Liaison statement on invitation to review Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information

「AI 標準化ロードマップの検討、および不足または更新情報の提供を依頼するリエゾン文書」

ITU-T SG13 は、AI の標準化ロードマップの補遺を作成中である。策定中の規格や、AI/ML の技術レポートなどの成果物に記載するための情報提供を依頼するリエゾン文書である。

ITU-T SG 13 へ返書を送付することが承認されているため[6/35]、**Noted** となった。

- [6/11] (ITU-T FG-VM) Liaison statement on technical Reports on use cases and requirements as well as architecture for vehicular multimedia

「車載用マルチメディアのユースケース、要求条件、アーキテクチャのテクニカルレポートに関するリエゾン文書」

車載用マルチメディアのユースケースと要件のテクニカルレポートの完成、およびアーキテクチャのテクニカルレポートの作業開始を知らせるリエゾン文書である。

WP6A、WP6B 共同で作成した返書を FG-VM に送付したので、**Noted** となった。

- [6/12] (ITU-T FG-AI4EE) Liaison statement on the first meeting of ITU-T Focus Group on environmental efficiency for artificial intelligence and other emerging technologies (FG-AI4EE)

「AI や他の新技術の環境効率性に関する ITU-T フォーカスグループ(FG-AI4EE)第 1 回 会合に関するリエゾン文書」

ITU-T SG5(環境、気候変動、循環経済)が、2019 年 5 月会合において、AI や他の新技術の環境効率性に関する新フォーカスグループ(FG-AI4EE)を設置したことを知らせるリエゾンする文書である。

FG-AI4EE へ返書を送付することが承認されているため[6/31]、**Noted**となった。

3.9.2.4 IEC

- [6/10] (International Electrotechnical Commission) Liaison statement from IEC TC 100 to ITU-R Study Group 6 and Working Party 6C on change of liaison person -Technical Committee No 100: Audio, video and multimedia systems and equipment

「ITU-R SG6 とのリエゾンパーソンが変更になったことを伝える IEC TC 100 のリエゾン文書」

IEC TC 100 の ITU-R SG6 とのリエゾンパーソンが変更になったことを知らせるリエゾン文書であり、HDR や WCG を含むカラー測定・管理に関する情報交換の継続を求めている。

WP6C で検討されたものであるため、SG6 としては **Noted** となった。

3.10 2020 年の会合予定

SG6 議長より、次回 SG6 関連会合及び TG6/1 会合のスケジュール案が紹介された。

Monday, 11 May – Tuesday, 12 May, 2020

Start date	End date	Number of meeting days	Group
11 May 2020	12 May 2020	2	TG 6/1

Monday, 5 October – Friday, 16 October 2020

Start date	End date	Number of meeting days	Group
5 October 2020	9 October 2020	5	WP 6C
6 October 2020	14 October 2020	7	WP 6A
12 October 2020	15 October 2020	3 ½	WP 6B
16 October 2020	16 October 2020	1	SG 6

3.11 閉会

Arasteh 氏（イラン）より、RA-19 を受けて RAG で検討される WP 議長任期の問題について、専門知識や経験に基づいて任命されている WP 議長の任期を 2 期に限定する理由はなく、副議長は議論に影響を及ぼすことなく議長のサポートに徹するべきである旨コメントがあった。また、SG6 議長に対する謝意と、放送業務の重要性などが述べられた。

SG6 議長より、放送の重要性やグローバルな標準を策定する SG6 の役割の常用性、さらに、2 つの ITU-R 決議への対応の必要性が述べられ、最後に、参加者の寄与、SG6 副議長及びステアリング委員会からの支援、通訳、カウンセラーの Chang 氏及び事務局に対する謝意が述べられた。

以上で、SG6 会合は終了した。

以上

表 1 日本代表団 SG6 会合参加者

植田 史菜	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 フェロー
西本 友成	日本放送協会 技術局計画管理部 副部長
熊丸 和宏	日本放送協会 技術局計画管理部
大出 訓史	日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部 副部長
甲斐 創	(一社)日本民間放送連盟 (日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術戦略統括部 担当副部長)
近藤 洋一	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社 TBS テレビ 技術局技術推進部 担当局次長)
保谷 和宏	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社フジテレビジョン 技術局技術開発部 副部長)

表 2 入力文書一覧(38 件)

	入力文書 番号(6/)	提出元	題 名	措 置
1	[1] (Rev.1)	Chairman, SG 6	Assignment of texts to the Study Group 6 Sub-Groups - Version January 2020	Noted
2	[2]	SG 6	Documents to be carried over from the 2015-2019 study period	Noted
3	[3]	ITU-T SG 16	Liaison statement on matching of ITU-R WPs of interest to ITU-T Study Groups	Noted
4	[4]	ITU-T SG 16	Liaison statement on recent activities of Recommendations related to TVOS	Noted
5	[5]	ITU-T SG 16	Liaison statement on new ITU-T Recommendation H.430.4 on MMT profile on Immersive Live Experience (ILE)	Noted
6	[6]	Chairman, ITU-T JCA-IMT 2020	Liaison statement on invitation to update the information in the IMT2020 Roadmap	Noted
7	[7]	ITU-T SG 13	Liaison statement on invitation to review Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information	Noted
8	[8]	ITU-T TSAG	Liaison statement on ITU Inter-Sector coordination	Noted
9	[9]	SG 5	Recommendation ITU-R F.758-7 - System parameters and considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference	Noted
10	[10]	International Electrotechnical Commission	Liaison statement from IEC TC 100 to ITU-R Study Group 6 and Working Party 6C on change of liaison person - Technical Committee No 100: Audio, video and multimedia systems and equipment	Noted
11	[11]	ITU-T (FG-VM)	Liaison statement on technical Reports on use cases and requirements as well as architecture for vehicular multimedia	Noted
12	[12]	ITU-T (FG-AI4EE)	Liaison statement on the first meeting of ITU-T Focus Group on environmental efficiency for artificial intelligence and other emerging technologies (FG-AI4EE)	Noted
13	[13]	Chairman, SG 6	Summary of results of the RA-19 and CPM23-1	Noted
14	[14] (Rev.1)	Chairman, SG 6	Proposed organization of the work of the Study Group 6	承認
15	[15]	Chairman, SG 6	Consideration with respect to the organisation of ITU-R TG 6/1 for the preparation of the studies relevant to agenda item 1.5 of WRC-23	承認

16	[16]	WP 6C	Proposed suppression of Recommendations ITU-R BT.710, ITU-R BT.812, ITU-R BT.1129, ITU-R BT.1382, ITU-R BT.1663, ITU-R BT.1788, ITU-R BT.2021, ITU-R BT.2022 and ITU-R BT.2095	仮採択 (PSAA)
17	[17] (Rev.1)	WP 6C	Draft editorial revisions to Recommendations following the publication of Revised Recommendation ITU-R BT.500-14	承認
18	[18]	WP 6C	Draft editorial correction to Recommendation ITU-R BT.500-14 following the suppression of Recommendations on video quality evaluation	承認
19	[19]	British Broadcasting Corporation (BBC), Broadcast Networks Europe, European Broadcasting Union, Norddeutscher Rundfunk(NDR), Rai Way S.p.A., TDF Group, Zweites Deutsches Fernsehen	Indicative meeting schedule for Task Group 6/1	Noted
20	[20]	WP 6C	Proposed draft editorial amendments of Recommendation ITU-R BT.2124-0 - Objective metric for the assessment of the potential visibility of colour differences in television	承認
21	[21]	WP 6C	Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2390-7 - High-dynamic range television for production and international programme exchange	承認
22	[22]	Chairman, WP 6C	Executive Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, from 3 to 7 February 2020)	Noted
23	[23]	WP 6A	Draft revision to Recommendation ITU-R BT.1306-7 - Error correction, data framing, modulation and emission methods for digital terrestrial television broadcasting	仮採択 (PSAA)
24	[24]	WP 6A	Draft revision to Report ITU-R BT.2295-2 - Digital terrestrial broadcasting systems	承認
25	[25]	WP 6A	Suppression of ITU-R Questions	採択
26	[26]	WP 6A	Draft note from the Chairman of Study Group 6 to the Chairman of CPM-23	承認
27	[27]	WP 6A	Draft new Report ITU-R BS.[IBOC-MW-PLAN] - Planning analysis for the HD Radio system in the MF band	承認
28	[28]	WP 6B	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2076-2 - Audio Definition Model	承認

29	[29]	WP 6B	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2125-0 - A serial representation of the Audio Definition Model	承認
30	[30]	WP 6B	Proposed draft liaison statement from Study Group 6 to ITU-T TSAG and ITU-D TDAG - Liaison Statement on ITU Inter-Sector Coordination	承認
31	[31]	WP 6B	Proposed draft liaison statement from Study Group 6 to ITU-T FG-AI4EE - ITU-T Focus Group on Environmental Efficiency for Artificial Intelligence and Other Emerging Technologies (FG-AI4EE)	承認
32	[32]	WP 6B	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2094-1 - Common Definitions for the Audio Definition Model	承認
33	[33]	WP 6B	Proposed suppression of Question ITU-R 138/6 - Methods for signalling loudness compliance	採択
34	[34]	WP 6B	Draft editorial revision of Recommendation ITU-R BS.2088-1 - Long-form file format for the international exchange of audio programme materials with metadata	承認
35	[35]	WP 6B	Proposed draft liaison statement from Study Group 6 to ITU-T Study Group 13 - Review of Artificial Intelligence Standardization Roadmap and provide missing or updated information	承認
36	[36]	Chairman, WP 6A	Executive Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, from 4 to 12 February 2020)	Noted
37	[37]	Chairman, WP 6B	Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Geneva, from 10 to 13 February 2020)	Noted
38	[38]	BR Study Groups Department	List of documents issued	Noted